

ライフワールド・ウォッチセンター(LWWC)は、生活の安全や環境に関する教育体系の調査・研究・開発を行いながら、人材育成や教育を実践し、もって安全で安心な生活世界を構築することを目的として2003年7月に設立された若い組織です。



「互学互教」の精神の下、専門機関・シンクタンク、学会・大学、行政・地方自治体、産業界、報道機関、NGO・NPO など幅広い諸機関と連携し、また内外の多様な分野で活躍する多くの人々の協力を得て情報の集積・発信の拠点として機能している。そして、「産学連携」を超えた「社会学連携」を目指して、生命、生物、生活、人生、生存の5つの視点から現代社会を検証すべく調査研究活動を進めるとともに、現代社会をより良く理解するための教育活動を推進している。

設立3年目となる2006年度は、化学物質の総合管理、科学技術リテラシー、社会変革と技術革新、社会人の再教育などを課題に調査研究を進めている。また、社会人の教養教育の推進に重点を置き、400名を超える講師陣の参画と全国から1200名を超える受講者の参加を得て58科目(1科目90分授業15回)から成る公開講座を開講している。

こうした活動を通じて、延べ2万人に近い人々が足を運び、多様な研究会や勉強会が草の根の如く拡がりつつある。ライフワールド・ウォッチセンターは、社会に開かれた自己研鑽と意見交換の場として、「知の拠点」から「知の市場」へと進化しつつある。

ライフワールド・ウォッチセンター センター長
増田 優